

# はなわ 議会だより

2018  
No.141

発行/福島県埴町議会  
平成30年1月26日



## 楽器演奏会 常豊幼稚園・小学校

## 12月定例会

- 意見交換会を開催します… P 2 ~ 3
- 湯遊ランドはなわ施設充実に2千万円… P 4 ~ 5
- はなわこども園特集…………… P 8 ~ 9
- 行財政改革など9議員が町政をただす… P 11 ~ 19

# 町民と町議会の意見交換会を開催します



# 町民との意見交換 提言活動に全力

埴町議会の「今」をお知らせ

埴町議会ではホームページやフェイスブックでの活動状況をお知らせしています。



埴町議会ホームページQR



埴町議会フェイスブックQR



埴町議会ツイッターQR

埴町議会では、「顔が見える議会」、「開かれた議会」をめざし、議会の活動状況を知っていただくとともに、説明責任を果たし、町民の意見や地域の課題を把握するため毎年意見交換会を開催しています。

### ねらい

- 議会の役割について理解を深めていただく
- 議会の活動について報告します
- 議会に対する要望・提言等を広く聞きます

### 開催日程

開催日 平成30年2月12日(月) 振替休日  
時間 午後2時～午後4時  
場所 防災センター13階会議室

### 今回のテーマ

- はなわこども園(仮称)建設
- 常豊小学校の跡地利用
- 埴工業高等学校の存続
- 埴厚生病院の医師確保 など

### 意見交換後の対応

町民の意見や提言などは取りまとめ、埴町議会ホームページと議会だよりで公表します。また、調査すべきものについては各委員会で所管事務調査などを行い町の発展と議会の活性化に努めます。

参加申し込みは必要ありません。ぜひお出かけください。



14 大縄武夫 13 鈴木孝則 12 藤田一男 11 小林達信 10 割貝寿一 9 小峰由久 8 鈴木安次 7 鈴木 茂 6 吉田克則 5 高縁 光 4 青砥與蔵 3 吉田広明 2 下重義人 1 七宮広樹



12月定例会の  
あらまし

12月定例会は、12月14日から18日までの5日間の会期で開催しました。第1日目は、提出議案の一括説明が行われ県人事委員会勧告に準ずる給与改正や税条例の改正などが提案されました。第2・3日目に、9人の議員が一般質問を行いはなわこども園（仮称）の建設や行財政改革などを取り上げ、町政をただしました。最終日は、議案審議を行い、追加提案された町長の報酬を減額する条例が可決され、他17議案も原案どおり可決し閉会しました。

集客アップへ

施設充実に2千万円



補正  
予算

20周年を迎える湯遊ランドはなわ

一般会計補正予算（第5号）の主な内容

歳出

湯遊ランドはなわ環境改善補助金	2000万円
農地等災害復旧工事費	1300万円
老人保護措置費	500万円
IP告知端末移動工事費	280万円
地籍調査事業測量業務委託料不用残	△1236万円
森林整備加速化・林業再生基金事業補助金	△1億1500万円
南原住宅駐車場整備関係	△950万円

**湯** 遊ランドはなわは今年4月にオープン20周年を迎える。それに伴い、運営を行っている（株）埴町振興公社から、施設の省エネルギー化を含む全館のリニューアルのための補助金要請があり、2千万円が補正予算として計上され可決された。照明のLED化や高齢者などが利用しやすい椅子とテーブル購入などが予定され、より快適な施設充実を図る。

また質疑では「LEDの機器設置は補助金として行うのではなく町施設の維持管理（町負担）として行うものではないのか」など、町と振興公社との負担区分の不明確を指摘した。

**埴** 町振興公社は、町が資本金の2分の1以上を出資している第三セクター。埴町泊施設の運営を委託さ

る。また質疑では「LEDの機器設置は補助金として行うのではなく町施設の維持管理（町負担）として行うものではないのか」など、町と振興公社との負担区分の不明確を指摘した。

れ事業を展開している。30年度は特に施設オープン20周年の節目を迎え、1年を通した各種イベントを実施し利用者の増加に努める。

一方、湯遊ランドはなわの建物は町が所有しており、施設の維持管理や設備改修は町が整備を行っている。また、運営する上必要な消耗品や備品などの管理、軽微な維持修繕に関しては振興公社が経費を負担し、建物に備えつけられている大型な備品や設備及び施設維持管理に係る経費は町で負担することが取り決められている。

**?** 債務超過：債務が資産を上回っている状態。自社の資産をすべて売却しても借金を返し切れない状態のこと。企業の財務体質として危機的な状況とされ、資本増強が急務となる。

質疑

**質疑** 維持修繕工事として、振興計画に計上して、町が修繕を行っていくべきではなかったか。また、なぜこの時期の補正なのか。

**質疑** LED設置は振興公社が負担するのか。

**振** 興公社の収支状況は、議会に報告された昨年度決算時点で累積赤字が9800万円に達しており、債務超過に陥る可能性が指摘されていた。

今後も、各項目の実態を精査し、健全経営となるよう日々注視していく必要がある。同時に、町ではリニューアル工事の計画を進め、お客様のニーズにあった施設を整備することで集客アップに繋げたい。

答弁

今回の補助金は、備品等の設置のためである。町監査員から備品等の管理は振興公社が行うべきとの指摘があり、また、振興公社からも4月に20周年を迎えるにあたり環境改善をしたいと要望があったためこの時期となった。

質疑

目に見える壁紙などの方が優先されるべきでは。

答弁

壁紙及びカーペットは10年前に交換しており、来年から随時、町が交換していく予定。

# 若者の定着化に力 末広町に宅地分譲計画 まちの未来どう描く



平成30年度から平成32年度までの埴町振興計画（実施計画）案と財政状況及び財政見通しについて、町から説明を受け質疑を行った。実施計画は、町の向こう3年間の計画で毎年12月に検討が行われている。昨年度に引き続き、予算決算常任委員会の所管事務調査として会議は公開して行った。新規事業のほか、継続事業の内容変更などについて説明をうけ疑問点をただした。

## 財政見通し

今後10年間の財政見通しによると、毎年度歳入が歳出を上回る安定した財政運営が見込まれている。しかし、現在の制度が継続されることが前提で、国の財政状況を考えると決して安心できない。歳入のうち町税は当面9億円台（平成29年度見込約9億円）を維持する見込みで交付税などが現行水準であれば、補助金や借金などを除く一般財源は38億円で推移する見込みである。

歳出は、人件費と扶助費は横ばいで推移するが公債費や普通建設費が増加傾向にあり、他の歳出の抑制が必要となっている。

## これからの事業計画

具体的事業計画は、これまでの継続事業であることも園整備（p859特集）と末広町の子育て若者定住促進住宅のほか湯遊ランドはなわのリニューアル工事やIP告知端末の交換などが新たに計上されている。

## 実施計画とは

実施計画が3年に一度見直され、基本計画の施策を詳細に具体化する中で、毎年度の予算編成の指針とするものである。

## 子育て若者定住促進住宅

町内の宅地需要を見込み、末広町の約1ヘクタールの土地に22区画の宅地を分譲する。平成30年度に整備を完了し同年に販売する予定。現在用地交渉、各種許認可事務を行っているが、当初の予定より遅れがみられ本格着手は平成30年になる見込み。

**Q** 22区画の1戸当たりの面積と販売額の予定は。

**A** 平均面積は65坪（62〜73坪）、販売価格は近隣の相場も参考とし事業費の確定後決定していく予定。

## あぶくま高原美術館

費用対効果に問題があり29年度閉館する方針を示していた。その後、区へ説明を行った際「美術館存続のため区でも協力体制を整える」との申し出があり、再度検討を重ねた結果、美術館を継続することを決めた。

**Q** 事業費が増額しているが、今後は冬季休館しないということか。

**A** 冬季休館はするが、区の要望で管理委託料の単価を上げたため増額となっている。

## その他の主な事業

### 湯遊ランドはなわ施設整備

20周年を迎える湯遊ランドはなわの改修工事が始まる。平成30年度から省エネ設備更新のため、環境省の補助事業を活用し温泉の配当熱を利用した省エネ化工事や平成32年度には施設のリニューアル工事費として1億5000万円を計上している。

## IP告知端末の交換

平成23年に共用開始されたIP告知端末は、現在端末機器の製造が中止されており平成31年12月をもって修理などのサポートが終了になる。平成32年度に全端末の交換が予定され、端末とサーバー機器交換で事業費8億5000万円を計上している。

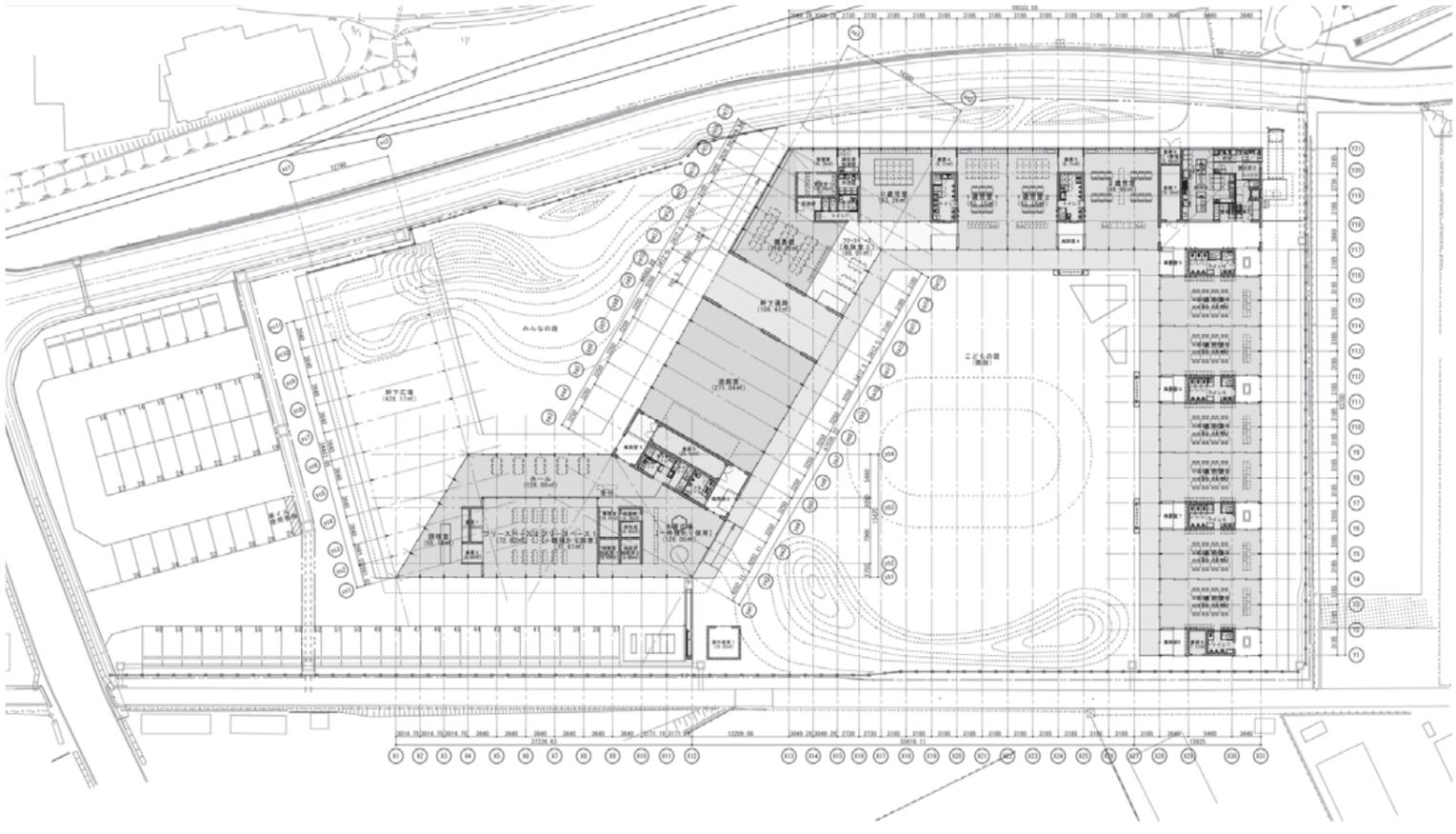
## はなわこども園整備

子育て支援に特化するため、保育園と幼稚園を統合したこども園と一時預かりなどを行う子育て支援を行う施設の建設を予定している。昨年度の振興計画では平成30年度完成予定との報告を受けていたが、設計計画の変更などにより平成31年度完成予定に変更となった。（次ページで特集）



存続が決定されたあぶくま高原美術館

# はなわこども園（仮称） 平成32年度4月開園予定 事業費12億円



最新のはなわこども園（仮称）基本設計平面図・配置図

**町** は、待機児童問題を抱え築40年が経過し老朽化が進む保育園と園児数が減少している幼稚園を統合（現段階では保育園、幼稚園、常豊幼稚園）した幼児一体の施設と乳幼児健診や一時預かりなどの子育て支援を行うはなわこども園建設を計画している。

**昨** 年9月に検討委員会や現場の意見が

取り入れられた基本設計が完成し、10月末から1ヶ月間公表と意見募集が行われた。今後はこの基本設計の改善点を反映させた実施設計を作成し、建設工事に着手していく。また、昨年度の方針転換により基本設計の見直しが行われ工程に遅れが生じた。そのため、はなわこども園完成予定が平成30年度から平成31年度に延期されること

**基** 本設計のコンセプトは、少子高齢化社会に対応し、多世代との交流を図りながら学童、乳幼児の健全育成に大きな効果が期待できる拠点の整備である。

また構造や仕上げ材に多くの木材を使用し木の町はなわをアピールできる施設を目指している。

## 主な質疑

**質問** 認定こども園にするのか。

**答弁** 面積条件は満たしているので認定をとることは可能だが検討している段階。条件や職員の確保に課題がある。

**質問** 建物側面の窓が多く熱効率が悪くならないか。

**答弁** 省エネ対策として、外壁面のガラス面積を縮減し、断熱性の高いウッドALC材などの外装材に置き換え建設コストと維持管理コストの比較検討を行っている。

**建** 物の規模は、こども園施設約2062㎡、子育て支援施設約1002㎡、全体延べ床面積3080㎡の平屋建ての複合施設。

**財** 源は、事業費の80%を過疎債、7%は文科省の学校施設環境改善交付金と福島県森林環境交付金を充てる計画。

**園** 舎保育室は、連続して配置することで園児の主動的な動きを重視しながらも、セキュリティや外部アクセスに考慮した配置で、子育て支援部分の多目的スペースやラウンジ、軒下広場との一体化によって開放的でありながら集える配置となっている。駐車場を約60台分用意し、軒下広場は雨天時の活動や

防災拠点にしたい考え。また、周辺環境にも配慮し、道路改良や防護柵の設置、緩衝地帯を確保することで転落防止を図る。

防災拠点にしたい考え。また、周辺環境にも配慮し、道路改良や防護柵の設置、緩衝地帯を確保することで転落防止を図る。



子育て支援施設のイメージ図

## ひとことインタビュー

12月の定例会の傍聴者数はのべ51人でした。傍聴された方の中から、藤田成美さん、遠藤勢子さんに傍聴した感想などをインタビューしました。



遠藤勢子さん、藤田成美さん

### 議会の質を向上 一丸となって欲しい

傍聴したきっかけは。

町の工業団地を作る時から、関係する事柄や何かあれば来ています。更に町の情勢や要望などを伝える為や議

員さんの質問に興味を持ったので来ている。

傍聴した感想はどうでしたか。

同じ事の質疑で進展のない議論がされている

るように思う。答弁で、今後職員の守秘義務や個人情報保護法は徹底するとし、内規規則や法律的処罰を説明する姿勢が良かった。

議会に対する意見、要望はありますか。

定住促進住宅や子ども園の事業で、もっとより良い方向はないのか。又、重複する議員質問が多く答えも同じなので、質問調整が必要ではないのか、答弁に納得しては、質問の意味がない。深掘りの再質問を言う

べき。更に陳情や要望書を議会はどう扱っているのか疑問に思う。

町に対する意見、要望はありますか。

紙おむつの補助を高齢者ばかりでなく、子育て支援で生後3年間の乳幼児にも出して欲しい。職員の業務姿勢に早さと緊張感がないと聞くので改善して欲しい。職員に向上心がないと町の活性化はないので、工夫をして欲しい。

## 条例

・町長の給料の減額支給に関する条例の制定について

定住促進住宅新築工事の入札に関して、不適切な事務執行があったため、町の最高責任者として、給与月額の3割を2ヶ月減額処分とする条例が追加提案され可決されました。

# 町政をただす

### 一般質問とは

議会は、住民の皆さんに代わって町の行財政の運営を監視する役割があります。一般質問は、その議会を構成する議員に与えられた権利です。町の事務の執行状況や町の将来への考え方について、報告や説明を町長に求めます。議会だよりに掲載している一般質問は、一般質問議員自らが作成し掲載しています。

町の考えを問う

## 埴工高へスクールバスは

### 課題として検討する

**質問** 埴工業高校存続の為に何か必要か。

**答弁** 埴工業高校活性化推進協議会を立ち上げ調査研究していく。

**質問** 埴工業高校生のための寮を用意しては。

**答弁** 検討課題の一つとして取り入れる。

**質問** 古殿町からスクールバスの運行を検討すべきではないか。

**答弁** 存続のための課題として取り入れる。



埴工の授業風景

## こども園建設の新たな補助金は

### 関係部署と調整中

**質問** 東京出張での活動は。

**答弁** 様々な所で要望活動をしている。

**質問** こども園建設に向けての新たな補助金の見込みは。

**答弁** 新たな補助金の見込みはない。関係部署と調整中である。

**質問** こども園完成後、新たな過疎債は使えるのか。

**答弁** 過疎債は使用可能と考えている。

**質問** 0歳児からの受け入れは可能か。

**答弁** 保育士の確保に努め、需要に合わせて検討する。

**質問** こども園建設で分離発注が経費節減につながるかと考えているのか。

**答弁** 埴町に負担の少ない方法を進める。

**質問** 埴町の業者を下請けでお願いできないか。

**答弁** メリットのある方法で検討する。

## 敬老会、湯遊ランドで開催は

### 取り入れるべく検討する

**質問** 敬老会開催について町長の感想は。

**答弁** 町主催と11行政区で開催されたが次年度も同様な方法で開催したい。

**質問** 町主催と行政区主催の敬老会では不公平と思うが。

**答弁** 不平等ではないと考えているがよく検証する。



鈴木安次

埴工業高校と埴厚生病院は全力で応援していかなければならない。

## 一般質問



吉田 広明

創造する議会や町でありたい。

町の考えを問う

# 行財政改革が進んでいないのでは

## 職員数や効率的な補助金費用対効果を検証し見直す

**質問** 総務費削減へ向け、役場組織の再編や行政コスト削減の取り組みは。

**答弁** 簡素で効率的な機構を目指して整備を推進して行く。経常的に実施している補助金は終期の設定、効果の検証などに務める。

**質問** 行政改革委員会は町民の意見集約として必要だが、いつ頃の設置か。

**答弁** 一月から開ければと考えている。

情報管理の問い合わせが来ているのか

## 不安払拭の為に、適切な管理を徹底する

**質問** 町民から情報管理の問い合わせが来ていると聞いたが、どのような内容だったのか。

**答弁** 議会だよりやインターネット上の情報などから、町の情報管理に不安を抱いている。不安を払拭するよう求める内容であった。

**質問** 不納欠損で個人情報漏えいの疑いがあり、町民から不安の声がある。

**答弁** 職員の立証は難しいが、二度と疑いを持たれないよう、厳しく管理徹底する。

## 建築費を抑えた、こども園建設をすべき

## 意見を聞いて変更を検討している

**質問** 維持費、建築費を抑えた、こども園を建設して欲しいと思っているが。

**答弁** 現在、設計の内部変更を検討している。

学校給食の残食率はどうか

## 鮫川村の2.13%に及ばないが、7%以下

**質問** 鮫川村の地元野菜使用率は30〜40%、埴町の給食センターには地元野菜の納品がないと聞いているが。

**答弁** 道の駅に月間使用野菜を提示し、地場産物の購入に繋がっている。



学校給食センター

町の考えを問う

# 「出た」産業廃棄物が最終処分場から

## 現行法で適正に処分

**質問** 3月の一般質問で「産業廃棄物最終処分場のゴミ山は、大半が焼失し灰の状態になったためそのまま埋めた」と答弁したが、その後の経緯は。

**質問** なぜ報道が10月だったのか。もっと迅速に対応するべきでなかったか。

**答弁** 産業廃棄物かどのような物なのか確認に時間がかかり報道が遅れた。

**質問** 産業廃棄物が出た箇所の土壌及び浸出水の検査の結果は。

**答弁** いずれも基準値以下であった。



下重 義人

最終処分場の下流には、田畑がある。残土を運んだ板庭地区の心配もある。きちんとした管理を願う。

## 障害者、高齢者家族への支援は補助金及び住宅改修費などがある

**質問** 障害者家族への支援及びリフトアップ車の購入時に補助はないのか

**答弁** 障害者の等級に応じてベットなどの日常生活用具の給付や自動車取得税、自動車税の減免、身体障害者用自動車改造費補助金などがある。

**質問** リフトアップ車は、高齢者のいる家族でも役に立つのではないのか。また、高齢者家族への支援は

**答弁** 介護度合に応じて、介護予防福祉用具の貸与、入浴補助用具購入の補助、住宅改修費に支援などがある。リフトアップ車の購入に対する補助などは今のところない。

## 期成同盟会とは

## 道路整備促進のための組織

**質問** 町は期成同盟会でのどのような活動をしているのか。

**答弁** 地域の実情や要望を取りまとめ、道路の整備促進のための組織であり、上部機関へのパイプ役として活動している。

**質問** 松岡、上洪井のアクセス道路への町道期成同盟会を立ち上げてはどうか。

**答弁** 地元の方々が組織をして、地元と町のパイプ役の役割を果たすことが事業推進につながる。

町の秋、冬に関する観光地は

## 「はなわアルク」を活用

**質問** JR福島版秋冬観光キャンペーンで埴町の観光地が載っていないのはなぜ。

**答弁** 観光客が訪れているが、通過型観光が主流である。自然志向、健康志向の高まりもあり、ウォーキング・ドライブマップ「はなわアルク」を活用し特産品などを紹介している。

**質問** 秋の観光地として紅葉街道復活を目指している「もみじを育てる会」はどうか。また、何らかの支援はできないのか。

**答弁** 那倉川沿いの「もみじ」の名所を創出するため発足し、紅葉街道として観光の一躍を担っている。支援については、担当課と協議し検討したい。



自然豊かな那倉川の紅葉



鈴木 茂

塙工高存続は町長にとって、必須の課題だ！

町の考えを問う

# 塙工高存続に関して問う

## いろいろな手段により進めたい

**質問** 活性化推進協議会は誰が中心となってどのような内容で取り組むのか。

**答弁** 町長が中心となって塙工高の魅力や活力を高める方策について、委員のかたから意見をいただく。

**質問** 協議会の委員はどのような考えの下で委嘱したのか。

**答弁** 塙工高の校長をはじめ現状に詳しいかた、中高一貫教育から塙中関係者、そして町からである。

**質問** 協議会の委員を多彩なメンバーに再編し「オールはなわ」で取り組む必要があるのでは。

**答弁** 女性や地域のかたなども考える。

**質問** いの一番に県に存続要望書を提出してはどうか。

**答弁** 移動政調会や公聴会でアピールしたい。又県の教育改革課とも話してきた。

**質問** 新学科創設は考えているのか。

**答弁** いろいろな手段

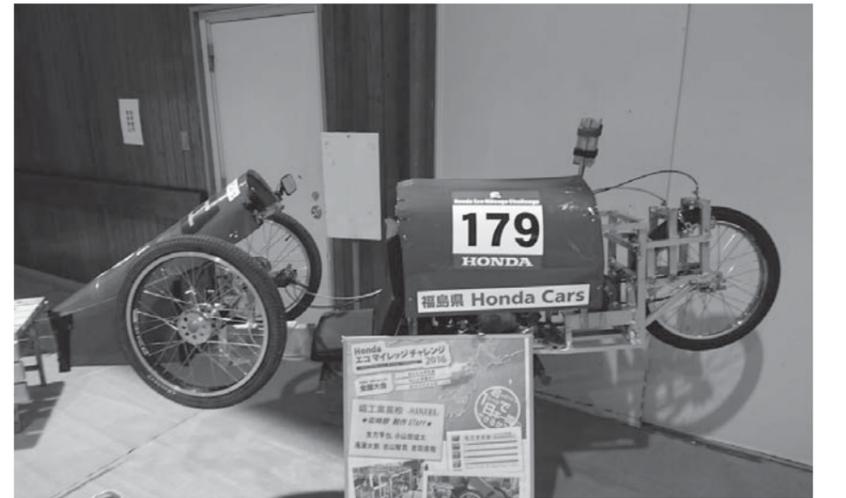
を考えたい。

**質問** 四年制の専攻課を作ってはどうか。

**答弁** 可能であれば考えたい。

**質問** 議会との連携は考えているか。

**答弁** 協議会で、結論を出し議事に報告したい。



Honda エコマイレージチャレンジに出場した塙工業高校の作品

## 湯遊ランド ダリア園の充実を

### 専門指導員を養成したい

**質問** 今年のダリア園の開花状況が悪かったどのような報告を受けたのか。

**答弁** 管理者が不在となり、天候不順もあり良い状態でなかったと聞いている。

**質問** 町の顔、ダリア園として恥ずかしい。

**答弁** 地域おこし協力隊員を派遣するなどしてダリア専門指導員を養成したい。

**質問** 昨年のダリア園の入場者と売り上げ高はいくらか。

**答弁** 1万1435人で375万9200円であった。

**質問** 湯遊ランドは温泉収入がメインであり入場料を取らないか、減額してはどうか。

**答弁** 無料は難しいが値下げは検討したい。

公聴会：国や地方公共団体などの機関が重要な事項を決定する際に利害関係者や学識経験者などを呼びその意見を聞く制度。

町の考えを問う

# デマンドタクシー運行の考えは

## 高城地区試験運行検証後に

**質問** デマンドタクシー運行実施について町の考えは。

**答弁** 交通手段の構築をする状況にある認識を持っている。高城地区で来年度試験運行する。検証し早い時期に町として方針を固めた考えをしている。



試験運行のデマンドタクシー



吉田 克則

町民意見を聞くというが、意見反映は何処へ！

## はなわこども園（仮称） 整備事業計画は 基本設計を基に予算化

**質問** 整備事業の建設規模根拠は（園児人数・規模・事業費）

**答弁** 園児数は保育園・幼稚園の園児数を基本に今後の見込みも考慮しながら設定。規模は各種基準に基づき設定した定員に対する必要面積でこども園の規模とした。事業費は基本設計を基に予算をたてている。

**質問** 常豊小学校跡地を利用したこども園にしてはと町民の声があるが。

**答弁** 多くの方々から意見を聞いている。現在材木町地内に建設予定地として用地を確保し建設に向け事業を進めている状況。設置場所の計画変更の予定は無い。

## 行財政改革の進捗状況

### 今年度中に大綱策定

**質問** 行財政改革の進捗状況及び進め方は。

**答弁** 経常収支比率の改善を念頭におき、行財政運営を進めるように普段の話し合いの中で指示をした。1月から事務を進める。今年度中に行財政改革大綱を策定する。

## 常豊小学校跡地 利用見通しは 実現性を考慮し 有効活用を目指す

**質問** 学校施設等利用検討委員会で常豊小学校跡地利用を考えるとしているが検討内容は、また、結果を踏まえ具体的な活用方法の進め方は。

**答弁** 10月に検討委員会を設置し1回目の委員会を開いた。会議では具体的な活用方法や検討までの話しには、いたっていない。12月末に現地調査を実施しこれから何度か委員会を開催して検討していく考えである。委員会の検討結果を基にパブリックコメントを行い、その内容を公表し予算や実現性を考慮し有効活用を目指す。

一般質問

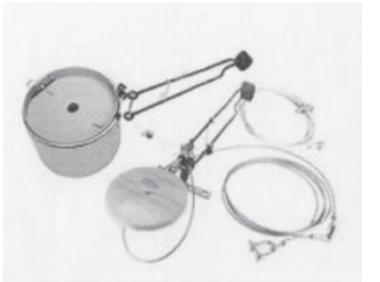
一般質問



青砥 與藏



故きを温ね 新しきを知る



くくり罟



猪捕獲用箱罟

町の考えを問う

# 猪捕獲にククリ罟や箱罟の導入は有効性を十分に検証し検討する

**質問** 環境省では、平成28年3月、全国の猪个体数の推定等を実施した。その結果、猪の推定个体数は98万頭と明らかになった。昭和53年から36年間で1.7倍に拡大している。環境省と農林水産省は抜本的な鳥獣捕獲強化対策を共同で取りまとめ、个体数を10年後(平成35年度)までに半減することを当面の獲得目標としている。これを達成するため、都道府県が主体となって捕獲を行う交付金により支援している。当町の猪个体数(頭数)とその対策は。

**答弁** 福島県全体では、4万9千頭。当町の猪个体数は500頭と推定している。町では、鳥獣被害対策補助金として500万円を電柵、鉄柵、捕獲補助金などに予算化しているが、今後補正予算をもって増額し対応していく。また、電柵、罟などの講習会を行っている。

**質問** 全国的捕獲免許取得者は、平成2年の52万人をピークに減り続け、平成26年には19万人と半減し高齢化している。町の免許取得者数の人数は。

**答弁** 第一種免許(猟銃)取得者数は25名、罟免許取得者数は34名。

**質問** 第二種特定鳥獣管理計画に対する県民の意見をきくためパブリックコメントを実施している。ぜひ、農産物被害者や猟友会の意見を広く聞き、当町の現状を県に訴えて頂きたい。抜本的な対策は、狩猟による対策である。猟銃・罟による捕獲以外あり得ない。ククリ罟は一基5千円、箱罟は一基6千円程度。

**答弁** 有効性を十分に検証した上で検討する。

町の考えを問う

# 議員活動報告の記述は

## 町活性化のため尽力したい

**質問** 定住促進住宅工事で談合や入札ぼう助があったかのよう書かれているが町長のとらえ方は。

**答弁** 受益者負担金は早期加入奨励金の活用を勧め一年以内に徴収に務めるように指示をした。15年から21年に賦課された一部は滞納となっており時効や徴収が不可能となったものは財産から減じるなど整理を進めた。

**質問** 町長は各種会合への欠席が増えていく。また退庁時間が早いと言われているが実際はどうなのか。

**答弁** いろいろな会合がある。重なった場合は副町長や教育長がかわりに出席する事もあるが、りできるだけ町内の会合には出席するようにしている。退庁時間も何も会合がない時は5時30分まではいる。

**質問** 町長は町民ファーストと言っているが議員も同じである。足の引っぱり合いをしていては町のためにならないと町民の方も言っている。憶測や私観や嘘まで言っている町民に聞かされては町民を

惑わせる事になる。行政も議会も町発展のために働くのが務めである。町長も同じと思うが考えは。

**答弁** 安全安心な町作り、快適な住生活の整備、子供たちがすぐく育つ町が町作りの基本であると思っっている。先人より預かったものをどのように子供たちに託すか議会と一緒に進めていきたい。



藤田 一男



がんばろう 埴町議会



新築された北原定住促進住宅



七宮 広樹

発展ある埴町を信じて！  
前を向いて進む！！

町の考えを問う

## 宝の山の活用はいかに 着実に進めて行く

**質問** 地籍調査が終わっていない地域が多く、森林所有者の世代交代・山に対する価値観の希薄化など課題も山積みだが、町の今後の対応や支援は。

**答弁** 地籍調査の町費の投入を増やすことを考え、調査のスピードアップを図り、事業の効率的な運用を検討していきたい。

**質問** 森林環境税の導入が実現すれば今後、森林に関係する事業が拡大していく可能性もあり、職員の増員や専門家の雇用を含め、更には課の新設など体制を整えては。

**答弁** 専門家の雇用は

制度を活用して取り組みたい。広範に仕事を与えてくることがあれば、林業関係の課の増設も対応を検討して行きたい。

**質問** 森林再生事業は期限が限られた事業であるが、今後の取り組みと進め方は。

**答弁** 関係機関、部署、局などに働きかけ、今後も継続できるように活動していく。

## 若者定住団地の充実を 期待に込めたい

**質問** 子育て若者定住促進団地整備事業の分譲予定地は、子育てにとって利便性が良く、待ち望んでいる声を聞く、また「仮称こども

園」が完成すると、子育て・医療・福祉のエリアとして形成され埴町の活性化につながるが、若者の動向をどのように捉え、事業の成

果を見据えているのか。

**答弁** これからの埴町存続を考えたとき大変重要な取り組みと考えている。

**質問** 地域活性化の為に、建物分譲の条件に、建物は地元建築・建設業者に、材料は地元木材の使用を加えるべきだと思いが。

**答弁** 大いに検討し、対応を考えていきたい。



子育て若者定住促進団地の分譲予定地の風景

## 急げ、中心市街地 活性化

### 早急に対応していきたい

**質問** 町民の高齢化と買い物難民化が進む今、人の行き来を始め道の駅集荷システムを兼ねた、利便性を感じるミニバス巡回サービスの考えは。

**答弁** 関係機関と県国等に情報収集しながら最善の対応を立ち上げていければと思っている。

**質問** 商店街の空き店舗の活用は、商店街の活性化と地域おこしにつながる。第1号の実証実験の場として「大町コミュニティセンター」の活用の考えは。

**答弁** 是非、取り込んで行ければと思っている。

町の考えを問う

## 公共下水道事業の問題点は

### 維持費削減と使用料の増収を図る

**質問** 公共下水道事業歳入の負担金、使用料3484万円に対して、一般会計からの繰入金は1億5990万円となっている。公共下水道事業の問題をどのように捉えているのか。

とが財政的な問題であると考えている。維持管理費の削減と接続率向上による使用料の増収を図ることが今後の課題と捉えている。

**質問** 公共マスまでの接続に費用が掛かる件について町として対策はあるか。

**答弁** 基本的に各家庭で対応して頂いている。  
**質問** 当町の場合、未加入者の中心地域が川に囲まれており排水管

が川の下を通っているという地形的な問題もあり、他の自治体に比べて維持管理に費用がかかる。排水管のポンプ場の場所はどこにあるのか。

**答弁** 公共下水道区域内で、ポンプ場は竹之内、桜木町、上石井の3カ所である。

## 若宮踏切付近の 町道冠水に対策を

### 現地確認状況を JRに伝え協議する

**質問** 上石井地区JR若宮踏切付近は、井戸入住宅近くに堀があり、上流は広大な山林地帯のため豪雨の際に踏切周辺に雨水が集中し町道が冠水する。早急に対策が求められるが考えはあるか。

**答弁** 水路敷地はJRの管理になっている。現地確認の状況をJRに伝え、協議していきたい。



高縁 光

人間は水が無くでは生きられない。良い水を求める。



公共下水道浄化センター

# 追跡 レポート

## あの質問 怎么样了?

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

●平成28年12月定例会 ●平成29年12月定例会

### 質問 救急医療情報キットの配布は

一人暮らしの高齢者に配布が進められ、救急時に命を守る手助けになる「救急医療情報キット」を町内全戸に配布することを是非考えていただきたい。

埴町振興計画（案）には計画が記載されていないが、実施の計画があるのか。

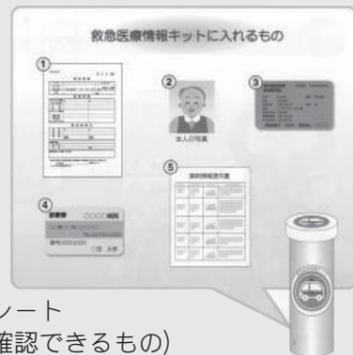
### 答弁 町内全戸に配布を検討する

是非、町内全戸に配布できるように検討していきたい。

### その後 一人暮らし高齢者を対象に平成30年度実施予定

平成30年度予算計上し、一人暮らし高齢者を対象に実施していきたいと考えている。

【容器（キット）に入れるもの】



- ①救急医療情報シート
- ②写真（本人が確認できるもの）
- ③健康保険証（写）
- ④診察券（写）
- ⑤薬剤情報提供書（写）・お薬手帳（写）

●平成29年6月定例会

### 質問 商業の活性化施策は

商業の目指す活性化施策はどのような内容なのか。

### 答弁 活性化の補助金も成果が見える出し方を考えて後押ししたい

商店の次を担う跡取りがない。どんな形で打破していくのか苦慮している。活性化の補助金も成果が見える出し方を考えて後押ししたい。成功例もある、学ぶべきことは学んで取り組めるところから進めたい。

### その後 これまでの商業活性化への具体的取り組み内容

街なかイルミネーション（サマーバージョン：8月1日～8月31日）、（ウィンターバージョン：12月1日～1月31日）を、磐城埴駅前から本町の各商店街において実施し、埴町中心市街地活性化事業補助金を活用して町内各商店街の賑わい創出を図っている。

## 委員会 レポート

### 総務常任委員会

# 介護士の人材確保は喫緊の課題

**平** 成29年9月28日（木）、介護保険事業の具体的な介護サービスの内容、地域包括支援センターの業務内容、介護保険事業全般について調査した。埴町の高齢化率は、33%（29年5月現在）を超えており、3人にひとり65才以上である。又介護保険認定者は566人、施設入所者169人（29年1月）である。その他具体的な介護サービスの利用の手続きについては説明があり29年1月からは「介護予防生活サービス」「一般介護予防事業」が総合事業となっていることが報告された。

**次** に地域包括支援センターと社会福祉協議会との連携による事業内容を調査した。質疑では「介護保険事業計画（第7期）に老人ホーム設置が組み込まれているか」に対し、「現在はない」との回答であった。また「社会福祉協議会の



「待機者もあり和室を改築してできないか検討している」との回答があった。最後に委員の討議では、今後高齢化率が高くなる我が町では、予防介護の重要性が増して行く。また、ヘルパーをはじめ介護する人が不足しており、この問題を解決することが喫緊の課題と結論づけられた。

**平** 成29年10月12日（木）、1. 都市交流事業の実績と概要について 2. 道の駅集荷システムの進捗状況について 3. 地震計の設置場所確認調査について、事務調査を実施した。

**都** 市交流事業の実績を見ると「道の駅はなわ」「物産協会」を中心とした物品販売がほとんどである。本来であれば「湯遊ランドはなわ」「道の駅はなわ」を中心に農家や商店の協力を得ながら人の交流を主体とした事業にしていかなければならない。最近では、観光協会の体験型事業が盛んになりつつあるのは良い傾向である。

2. 道の駅集荷システムの進捗状況について  
道の駅集荷システム事業は、400万円の予算額である。「道の駅はなわ」に野菜を運搬するのが困難な方を対象としているが、集荷申込者が5人とあまりに少ない。夏野菜の不足時に集荷対象になっていない人の野菜を集荷し、抗議を受けて集荷を取りやめにしたとの話も聞いている。もつと綿密な事業計画を立てる必要がある。

3. 地震計の設置場所確認調査について  
**地** 震があるたびに埴町の震度が周辺町村の震度より低いので町民が不思議に思っている。埴町に設置されている地震計の設置場所の確認調査をした。

### 経済常任委員会

# 道の駅集荷システムの綿密な事業計画を

議運・広報常任委員会

先進地視察研修



11月6日～8日議会運営委員会と広報常任委員会の合同視察研修を行いました。

金ヶ崎町（岩手県）

町村議会広報全国コンクール」の常連入賞町で、過去に何度も最優秀賞（総合1位）を受賞している。広報委員自らの手で企画編集を行い「中学生が読んでも理解できるように議論の身をかみくみだいて」などをモットーにありのままに解りやすく編集しているとの説明を受けた。委員が記事を分担して執筆する

ことでスピード発行を実現し、議員になったら一度は広報委員にする」という議長の方針もあり、議会全体で取り組んでいる姿勢や熱意は大変参考になった。

村田町（宮城県）

一昨年から議会基本条例の制定をはじめ、さらに議会改革の整備を進めるため議論を重ねて。全国的に問題となっている「議員のなり手不足」についても課題とし、若い議員や女性議員の育成のため報酬額アップの方向で検討中とのこと。近年各自自治体議会でも改革が実施されているにも関わらず、議会への評価が高まっているとは言い難い」という点も考慮にいれ村田町独自の議会改革を慎重に進めていくとのことだった。

議会だよりモニターさんの声

今回は、議会だより140号（29年10月20日発行）について寄せられた意見を掲載します。

◎28年度決算認定についてP2～5

- ・「財政調整基金さらに積み増し最高額」と見出しから理解困難。冒頭がこのように見出しにはじまっては本文を読む意欲が湧かない。
  - ・不納欠損の件はあまりよくわからないが不公平さを感じる。
  - ・円グラフはもう少し大きくしてはどうか。見づらい部分がある。
- 対応 読みやすく分かりやすいよう記事の書き方や見出しを工夫していきたい。

◎監査講評についてP8～9

- ・監査結果の公表は、小見出しをつくって読みやすく工夫しては。
- 対応 長文掲載時の今後の課題としたい。

◎出欠状況についてP22

- ・ホームページやフェイスブックの利用状況もわかると良い。若者が関心を持ると町も変わるのでは。
- 対応 そのような視点からの掲載も今後検討したい。また、議会だよりでもホームページやフェイスブックなどの紹介をしていきたい。

◎表紙について

- ・学年行事の写真は何をしているのか説明がないと分からない。
- 対応 説明をもっと具体的にしていきたい。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。



藤田和宣さん  
(笹原地区)

議会だよりは町民の生活に直結する議案の質疑応答、ならびに議員皆様の活動が臨場感に溢れ理解しやすく詳細に紹介されています。

す。今まで町政や議会の動向はよくわかりませんでした。が、議会だよりモニターを引き受けてから町政を知る手段として、広報紙を熟読しています。モニターとしての意見ですが、議会での質疑は賛否両論があつて当然ですが、議案が採択されたのであれば、議会一丸となって町政を前進させる運営を強く要望いたします。



小林静子さん  
(埴地区)

みんなが安心して暮らせる町づくりに期待

議会だよりモニターになってから二期目に入りました。おかげ様で議会だよりを良く読むようになりま

した。今町はどんなことが議題になっているのか今まで以上に関心を持って読んでおります。自分自身もシニア世代となり人口減少や少子高齢化問題はやはり不安です。みんなが安心して暮らせる町づくりに期待しながら健康で過ごしたいと考える今日この頃です。

議会一丸となり町政運営を

議会活動出欠状況

平成29年10月1日～12月31日

年月日	会議名称	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	高緑光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
29.10.4	広報常任委員会	○	○	私呈	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
29.10.12	経済常任委員会	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
29.10.12	広報常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
29.10.16	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.10.16	広報常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
29.10.16	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
29.10.24	10月臨時議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.10.24	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—
29.10.24	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.10.24	高萩市議会との交流研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.10.26	東白川地方町村議会議長会主催議員研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.11.6-8	議運・広報常任委員会視察研修	○	○	私用	—	—	○	○	○	—	○	私用	—	○	○
29.11.28	埴工業高等学校視察	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.12.5	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.12.5	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.12.5	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
29.12.12	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.12.12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.12.12	広報常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
29.12.14-18	12月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.12.14	総務常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—
29.12.14	経済常任委員会	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
29.12.18	議会運営委員会	—	—	—	—	—	私呈	○	○	—	○	○	—	○	○
29.12.26	県立高等学校改革基本計画説明会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	私用	○

○出席 一該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：伊香清流の郷  
活動場所：伊香区一円  
会長：青砥繁蔵

### 伊香の原風景を次世代に

伊香清流の郷事業では多面的機能事業に取り組み水田60haを登録してあり、共同活動、長寿

命活動が同時進行しています。遊休農地の解消はもとより、農道、水路の維持補修管理等多岐にわたり、農家、非農家含めて伊香区民全員で作業に当たって

います。特に伊香高砂会が主体となつて花壇を作り、通行人に安らぎを与えています。

伊香地区も農業基盤整備事業後50年以上経過しているので、地域住民一丸となつて、豊かな実りと農村の原風景を維持していくために頑張っています。



花壇の手入れ



地域一丸となつての共同作業

### 編集後記

新しい年が明け、早くも1カ月が過ぎようとしています。読者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。昨年中は町議会も色々ありました。今年も議員一丸となつて、襟を正し町民の負託に応えられるよう頑張つて参りたいと思います。

まだまだ寒い日が続きますが、風などひかないように体に留意してお過ごし下さい。広報常任委員会も一人でも多くのみなさまに「議会だより」を読んでも頂けるよう頑張つていきたいと思ひます。今年も宜しくお願い致します。

下重 義人

**議会傍聴に  
おいでください**  
次回の定例会は、3月6日から開会される予定です。氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

### 広報常任委員会

- |      |     |    |
|------|-----|----|
| 委員長  | 吉田重 | 則人 |
| 副委員長 | 下鈴木 | 克義 |
| 委員   | 鈴木  | 安次 |
| 委員   | 鈴木  | 茂  |
| 委員   | 吉田  | 明  |
| 委員   | 宮七  | 樹  |

※議事録は、事務局、またはホームページでご覧になれます。